



臨床試験セミナー  
統計手法専門コース

# BioS

## 30周年

### 記念講演会

主催：一般財団法人日本科学技術連盟  
会場：国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス  
会期：2019年9月6日(金)

## 臨床試験セミナー 統計手法専門コース 30周年の歩み

「臨床試験セミナー 統計手法専門コース(略称：BioS)」は、製薬企業における医薬品開発、臨床研究に携わる統計解析専門家の育成を目的として、1989年(平成元年)に設立されました。これまでに1,500名以上の修了生を輩出し、各界から高い評価を得ています。

この度、BioSセミナーが30周年を迎えるにあたり、記念講演会を9月6日(金)、国際医療福祉大学・東京赤坂キャンパスで開催する事が決定いたしました。

なお、同会場にて、「SASユーザー総会2019(9月5日～6日)」が同時開催いたします。BioS30周年記念講演会かSASユーザー総会のいずれかにお申込みいただくと、双方の全てのセッションを聴講することが可能となっております。

また、日本科学技術連盟(JUSE)とSASユーザー総会の合同特別講演には、一昨年『統計学はときにセクシーな学問である』を執筆された前英国王立統計協会会長・ケンブリッジ大学教授のデビッド・シュピーゲルハルター先生をお招きし、「リスクと不確実性のコミュニケーション論」に関してお話しいただきます。

そして、合同基調講演では、日本きっての数理統計学者である、東京大学名誉教授の竹内啓先生に、「Probability for Whom? : 誰にとっての確率か?」と題してご講演いただくことが決定いたしました。

英国と日本を代表するお二人の講演を聞くことが出来る、またとない機会です。ぜひご期待ください。

また、「展示コーナー」におきまして、「展示ブース」と「リクルートコーナー」を設けております。

「展示ブース」では、ご来場の方々に製品及びソリューションサービスなどについて、パネルでの掲示やデモを通じて直接ご説明いただき、情報交換、交流、商談の場として有効にご利用いただけます。

なお、「リクルートコーナー」では、パネル展示のほか、特別セッション(9月5日(木))にて、1社5分のプレゼンテーション枠をご提供いたします。学生の皆さんもぜひご活用ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

BioS30周年記念講演会事務局

# 開催概要・アクセスMAP

## 開催概要

- 【名 称】 臨床試験セミナー 統計手法専門コース BioS30周年記念講演会  
 【会 期】 2019年9月6日（金）全1日  
 【会 場】 国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス  
 【内 容】 日科技連BioS修了生、医薬セミナー参加者及び医薬関連セミナー講師の最新情報の交換及び懇親会  
 【来場目標】 約100名（+SASユーザー総会様400名）／日（延べ900名）  
 【参加費】

|             | 講演会    | 懇親会    | 論文集              | SASランچセッション |
|-------------|--------|--------|------------------|-------------|
| 一般/賛助会員     | 5,400円 | 5,400円 | 5,400円<br>(当日配付) | 無料          |
| 教育機関/公的研究機関 | 2,700円 | 5,400円 | 5,850円<br>(後日郵送) |             |
| 学生          | 1,000円 | 1,000円 |                  |             |

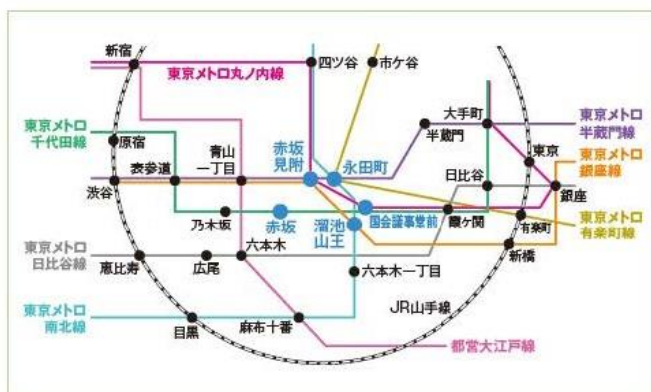
※税込

- 【主 催】 一般財団法人日本科学技術連盟  
 【公式サイト】 <http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/bios30>

- 講演会にお申込みいただくと、SASユーザー総会(9/5～6)のセッション全てに参加することが出来ます。
- 懇親会は、日科技連とSASユーザー総会の合同開催です。
- SASランチセッションは、講演会の無料オプションで、事前申込は不要です。→4頁参照

## アクセスMAP

- 国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス 地下鉄「赤坂見附駅」「永田町駅」から徒歩3分



- 銀座線・丸ノ内線「赤坂見附駅」A出入口より徒歩3分
- 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」A出入口より徒歩3分
- 千代田線「赤坂駅」徒歩8分
- 銀座線・南北線「溜池山王駅」徒歩12分

# 講演会プログラム

※プログラム内容は変更になる場合があります。

| 9 / 6<br>(金)                     |       | 講演テーマ    |                                                           | 講演者                  |
|----------------------------------|-------|----------|-----------------------------------------------------------|----------------------|
| 10:00                            | 11:00 | 講演1.     | 統計家のためのAI基礎技術と最新AIの話題<br>～統計とAIのはざままで～                    | 小野 潔氏<br>(株)インテック    |
| 11:00                            | 12:00 | 講演2.     | 今後の新薬開発の動向と<br>生物統計家への期待                                  | 山田 雅信氏<br>(筑波大学)     |
| 12:00                            | 13:30 | 休憩       |                                                           |                      |
| 13:30                            | 13:45 | 講演3.     | 臨床統計家育成コースについて                                            | 上村 鋼平氏(東京大学)         |
| 13:45                            | 14:00 |          |                                                           | 魚住 龍史氏(京都大学)         |
| 14:00                            | 14:30 | 講演4.     | 臨床試験セミナー統計手法専門コース・<br>BioSの現状                             | 平川 晃弘氏<br>(東京大学大学院)  |
| 日科技連BioS30周年記念講演会・SASユーザー総会 合同開催 |       |          |                                                           |                      |
| 14:45                            | 15:45 | 基調<br>講演 | Probability for Whom?<br>誰にとっての確率か?                       | 竹内 啓氏                |
| 15:45                            | 16:45 | 特別<br>講演 | Communicating risk and uncertainty<br>リスクと不確実性のコミュニケーション論 | デビッド・<br>シュピーゲルハルター氏 |
| 16:45                            | 17:00 | 休憩       |                                                           |                      |
| 17:00                            | 18:30 | 懇親会      |                                                           |                      |

## ■ SASユーザー総会2019・ランチセッション (ランチボックス付)

9 / 6 (金) 12:00～12:40 先着150名

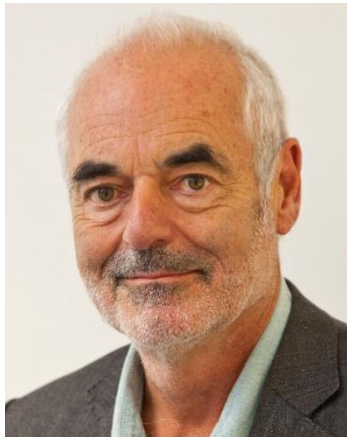
- 講演会にお申込みの方に限ります。事前申込は不要です。当日先着順で定員になり次第、締め切らせていただきます。
- 9/5 (木) のランチセッションは開催いたしません。詳しくは、SASのWebにてご覧ください。

# 講演会プログラム

## ■ 特別講演

### Communicating risk and uncertainty リスクと不確実性のコミュニケーション論

デビッド・シュピーゲルハルター 卿 前英国王立統計協会会長・ケンブリッジ大学教授



We are faced with claims of both a reproducibility crisis in scientific publication, and of a 'post-truth' society in which emotional responses dominate over balanced consideration of evidence. This presents a strong challenge to those who value quantitative and scientific evidence: how can we communicate risks and unavoidable scientific uncertainty in a transparent and trustworthy way?

Appropriate communication of established risks has been well-studied, leading to recommendations for using an expected frequency format. But deeper uncertainty about facts, numbers, or scientific hypotheses needs to be communicated without losing trust and credibility. This is an empirically researchable issue, and I shall describe some current randomised experiments concerning the impact on audiences of alternative verbal, numerical and graphical means of communicating uncertainty.

Available evidence may often not permit a quantitative assessment of uncertainty, and I will also examine scales being used by 'What Works' centres and other agencies to summarise degrees of 'confidence' in conclusions, in terms of the quality of the research underlying the whole assessment.

#### 【プロフィール】

デビッド・シュピーゲルハルター卿は、ケンブリッジ大学にあるウィンストン財団が、医療の専門家、患者、法律家、マスメディア、政策立案者によって用いられる統計的なエビデンスに関わる方法を改善することを目的として設立したリスクとコミュニケーションにおけるエビデンスのセンター長を務める教授です。リスクに関するコミュニケーションについて様々な組織や政府機関のアドバイザーであり、特に不確かなことを伝える場面において統計的な問題についてマスコミのレギュラーコメンテーターでもあります。

医学統計、特に臨床試験、医療技術評価、薬剤の安全性におけるベイズ手法の利用について専門的に研究をされ、200以上の査読付き論文、(Michael Blastland氏と共著の)Norm Chronicles、Sex by Numbers (日本語訳：統計学はときにセクシーな学問である)、The Art of Statisticsの著作とともに共著で6つの書籍があります。マスメディアでも活躍され、BBC4のドキュメンタリーTails you Win: the Science of Chance、受賞に輝いたClimate Change by Numbers、2011年にはBBC1でAn第7回Episode of Winter Wipeoutに出演されました。

2005年に王立協会の評議員に選ばれ、2014年には医学統計への貢献で大英帝国二等勲爵士、いわゆるナイトの称号を授与されてSirの称号が付けました。また、昨年まで2年間王立統計協会の会長も務められました。

Twitterは@d\_spiegel、ホームページは<http://www.statslab.cam.ac.uk/~david/>

## ■ 基調講演

### Probability for Whom? 誰にとっての確率か?

竹内 啓 氏 東京大学名誉教授 日本学士院会員



特定の事象の起こる「確率」の意味はそれに関わる人の立場によって異なる。家屋が火災に遭う確率や個人が特定の病気にかかる確率は、保険会社や病院と家の所有者や患者個人とはその意味が全く異なる「大数法則」が成立する。前者にとっては確率=頻度と理解できるが、一回限りの事態に直面する後者にとっては、それは無意味である。団体や「国」にとっても大事故や大災害は一回限りの事態である。その確率をどう理解すべきかが問題である。

#### 【プロフィール】

竹内 啓先生は、日本の数理統計学者、経済学者、科学史家であり、東京大学名誉教授、明治学院大学名誉教授、日本学士院会員として活躍されています。専門分野は、数理統計学、計量経済学で、専門以外の広範な分野における著作・論述も多数発表しています。

略歴：1933年東京に生まれる。1956年東京大学経済学部卒業。1961年同大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。1963年東京大学経済学部助教授。1975年同教授。1987年東京大学先端科学技術研究センター教授(1994年まで、経済学部併任)。1994年東京大学定年退官。1994年明治学院大学国際学部教授。2006年同定年退職。この間、日本学術会議会員、日本統計学会会長、統計審議会会長などを務める。

『数理統計学』東洋経済新報社で日経・経済図書文化賞、『無邪気で危険なエリートたち』岩波書店で石橋湛山賞、日本統計学会賞(2000年)を受賞。数理統計学・応用統計学のほか、数学、現代経済学、計量経済学、現代社会論、科学技術論、地球環境問題など、広範囲のテーマに関する書籍・論文多数。昨年『歴史と統計学 一人・時代・思想』を上梓されています

# 講演会プログラム

## ■ 講演 1.

### 統計家のためのAI基礎技術と最新AIの話題 ～統計とAIのはざままで～

小野 潔 氏 株式会社インテック データサイエンティスト／東京大学大学院システム創成学 大学院研究生



- ・データサイエンス（高度統計処理と機械学習の融合）
- ・統計学とAIの歴史
- ・特徴量抽出と深層学習の発展
- ・数値解析とテキスト解析の発展
- ・コンピュータ言語/AIツール/AIライブラリ
- ・AI組込型業務アプリの開発と契約
- ・GDPRによるAIモデル規制

多くの統計家にとっては、毎年新しい技術が生まれるAI/機械学習/深層学習はわかりづらい分野です。本講演では統計家のためのAI基礎技術から最新AIの話題まで、AIの全体像を解説します。1部は統計学と比較しながら、AIの黒歴史、特徴量抽出などの基礎技術を、2部は『AIの民主化』の観点から、AIライブラリ・AIツールのAI開発環境を解説します。3部はAIが現在社会に突き付けた最近の課題、「AIの権利は誰のもの」「ベンダーの儲からないAI」「AIで暴かれる個人情報」「ユーロで規制されるAI」などの『AIブームのほころび』も言及します。

#### 【プロフィール】

1984年 東京工業大学大学院総合理工学研究科 システム科学専攻  
1986年 日興証券 システム運用部  
1995年 ニッセイ基礎研究所 金融研究部  
2000年 三和銀行（現三菱UFJ銀行）リテール業務部  
2013年 インテック 金融ソリューションサービス部

共筆：『金融工学辞典（朝倉書店、2004/9）』、『人工知能学辞典（共立出版、2005/12）』  
所属学会：人工知能学会  
アカデミック役職：SASユーザー総会世話人会

## ■ 講演 2.

### 今後の新薬開発の動向と生物統計家への期待

山田 雅信 氏 筑波大学 つくば臨床医学研究開発機構 研究開発マネジメント部長/医学医療系 教授



- ・医薬品開発と医薬品産業の現状
- ・医薬品規制に関する最近の動き
- ・医薬品の臨床開発と臨床試験・治験の歴史的変遷
- ・医薬品開発における生物統計家への期待

新薬の開発にあたっては、最終段階でヒトを対象とした臨床試験（治験）を実施して開発品の有効性・安全性を示すことが必要不可欠である。臨床試験はヒトを対象とすることから、科学性とともに被験者保護等のために倫理性に配慮することが必要であり、薬機法など、による規制を受けている。この臨床試験についての規制制度は、長年にわたる検討の結果現在の形になっているが、本講演では、演者の経験にもとづき、これまでの臨床試験をめぐる規制制度などの状況の変遷を振り返るとともに、最近の方向性として医療上必要性の高い医薬品等の開発をできる限り迅速に行うための規制制度の改革が行われているが、それらの動きも併せて紹介する。

#### 【プロフィール】

1985年3月 東京大学大学院薬学系研究科修士課程修了  
同年4月 厚生省入省 以後、新薬承認審査業務などの医薬行政を中心とした業務を担当  
2008年7月 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 新薬審査第一部長  
2011年8月 厚生労働省 医政局研究開発振興課治験推進室長  
2013年7月 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 審議役（国際・新薬審査等担当）  
2015年10月 厚生労働省 医薬・生活衛生局審査管理課長  
2017年10月より現職

# 講演会プログラム

## ■ 講演 3.

### 臨床統計家育成コースについて

上村 鋼平 氏 東京大学大学院情報学環（生物統計情報学講座）特任講師



- ・臨床統計家育成コース概要の紹介
- ・SASを活用した統計教育の実践

わが国では生物統計家が不足しており、臨床研究実施の遅れや研究不正につながっていると指摘されています。このため、実務家としての生物統計家を育成し臨床研究実施機関に送り出すことは喫緊の課題とされていました。国立研究開発法人日本医療研究開発機構（Japan Agency for Medical Research and Development, AMED）の「生物統計家育成支援事業」において、生物統計家の育成拠点として東京大学大学院と京都大学大学院が選定され、2018年度より新しい教育コースが始動いたしました。生物統計情報学コース（東京大学）では、医学部附属病院・国立がん研究センターとの連携のもと、座学及び実際の臨床研究業務を経験する実地研修を効率的に融合した教育プログラムが開発されています。本講演においては、臨床統計家育成コースの概要とSASを活用した統計教育の実践内容についてご紹介させていただきます。

#### 【プロフィール】

2009年 東京大学大学院医学系研究科博士課程修了 博士（保健学）  
2009年～2017年 医薬品医療機器総合機構 新薬審査第四部 生物統計担当  
2014年～2017年 同再生医療等製品審査部 ワクチン等審査部 生物統計担当  
2017年～現在 東京大学情報学環特任講師 生物統計情報学コースの設立・運営・講師を担当

### 京都大学における臨床統計家育成：実地研修の立場から

魚住 龍史 氏 京都大学大学院医学研究科 医学統計生物情報学教室 講師



- ・京都大学における臨床統計家育成の取り組み
- ・京都大学医学部附属病院における実地研修の紹介

京都大学大学院医学研究科は、2016年10月に生物統計家育成支援事業の拠点として採択され、2018年度から「臨床統計家育成コース」が開講されている。演者の所属する京都大学医学部附属病院では、本コースの分担機関として、臨床研究・開発の現場での実地研修を行っている。1年次の実地研修では、附属病院内の各部署と密接に連携して、臨床研究・治験を取り巻く各専門分野を理解してもらうことを目的として、講義・見学形式で実務教育を実施している。2年次の実地研修では、既に終了している第III相ランダム化比較試験を題材にして、臨床試験の実務教育を行っている。本講演では、実地研修の立場から、臨床統計家育成の取り組みを紹介する。

#### 【プロフィール】

1986年 東京に生まれる  
2018年 東京理科大学大学院工学研究科博士後期課程修了  
<著書> 『生存時間解析 応用編 -SASによる生物統計』（共著、東京大学出版会、2016）

## ■ 講演 4.

### 臨床試験セミナー統計手法専門コース・BioSの現状と今後の展望

平川 晃弘 氏 東京大学大学院医学系研究科 生物統計情報学講座 特任准教授



- ・臨床試験セミナー 統計手法専門コース（BioS）のカリキュラム紹介と今後の展望

「臨床試験セミナー 統計手法専門コース（略称：BioS）」は、製薬企業における医薬品開発、臨床研究に携わる統計解析専門家の育成を目的として、1989年（平成元年）に設立されました。これまでに1,500名以上の修了生を輩出し、各界から高い評価を得ています。本講演では、これまでのBioSの歴史を振り返ると共に、生物統計学の変遷を踏まえて改良され続けているBioSの最新のカリキュラムとサポート体制をご紹介します。

#### 【プロフィール】

東京理科大学大学院工学研究科経営工学専攻 博士課程修了 博士（工学）  
（独）医薬品医療機器総合機構 審査専門員、東京理科大学 助教、名古屋大学医学部附属病院講師（統計解析室 室長）を経て現在に至る。

#### <著書>

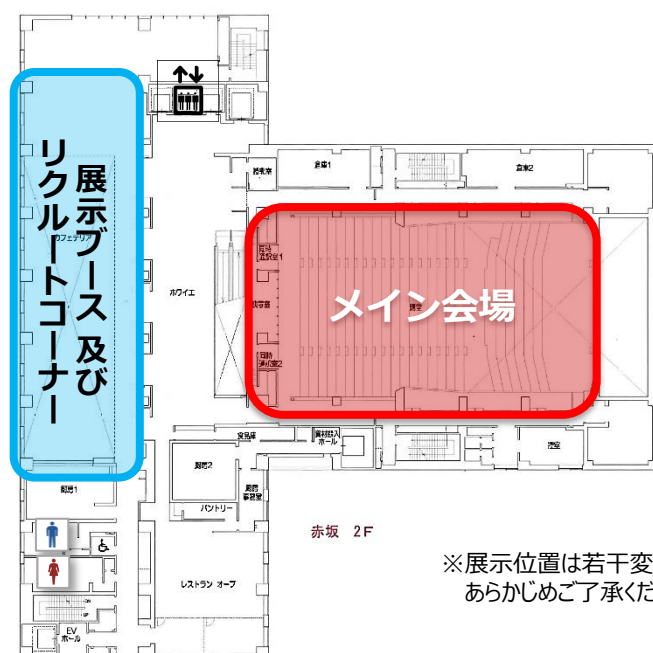
Hirakawa A, Sato H, Daimon T, Matsui S. Modern Dose-Finding Designs for Cancer Phase I Trials: Drug Combinations and Molecularly Targeted Agents, 2018, Springer.  
平川晃弘, 五所正彦（監訳）『臨床試験のためのアダプティブデザイン』朝倉書店、2018  
平川晃弘（監訳）『臨床試験のためのデータモニタリング委員会：実践ハンドブック』サイエンティスト社、2017

# 協賛募集要綱(展示ブース／リクルートコーナー)

| 種別 |               | 展示費用<br>(税別) | 募集数 | ご協賛特典                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----|---------------|--------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 展示<br>ブース     | ¥200,000     | 5社  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・JUSE Webでの貴社ロゴ掲載、貴社サイトへのリンク</li> <li>・展示ブース (W1800×H2100×D800) の提供</li> <li>・当日プログラムへの貴社ロゴ及び貴社名の掲載</li> <li>・受付キットへの貴社カタログ (1種) 封入</li> <li>・講演会参加証 5枚 ※BioS30周年記念講演会及びSASユーザ総会とも聴講可</li> <li>・懇親会参加証 5枚</li> </ul> |
| 2  | リクルート<br>コーナー | ¥20,000      | 6社  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リクルートコーナーにて募集要綱パネル掲示 (A3サイズ)</li> <li>・リクルートコーナーにて募集パンフレット(1種)平置き</li> <li>・オフィシャルサイトでの貴社ロゴ掲載、貴社サイトへのリンク</li> <li>・特別セッション(9月5日(木))にて5分の説明枠提供</li> <li>・講演会参加証 1枚 ※BioS30周年記念講演会及びSASユーザ総会とも聴講可</li> </ul>          |

## 展示コーナー

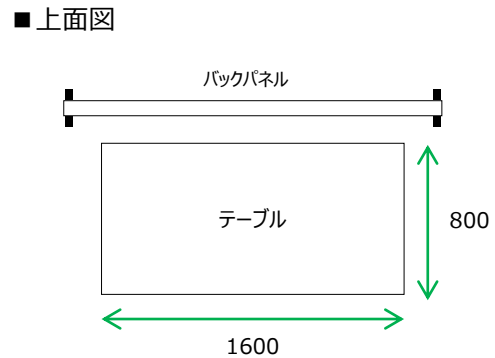
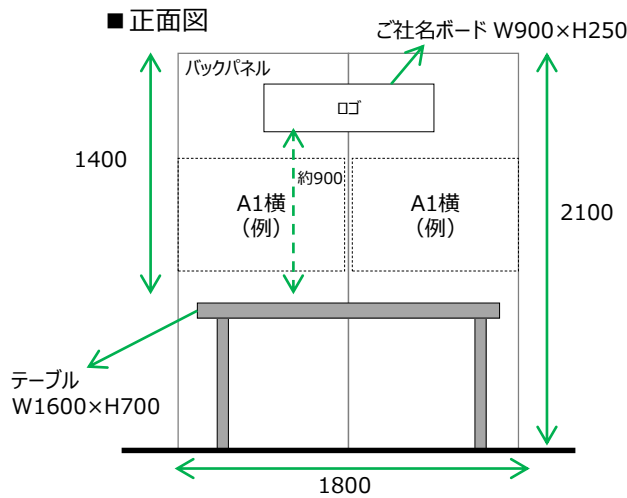
2 F



※展示位置は若干変更になる場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

# 協賛募集要綱(展示ブース/リクルートコーナー)

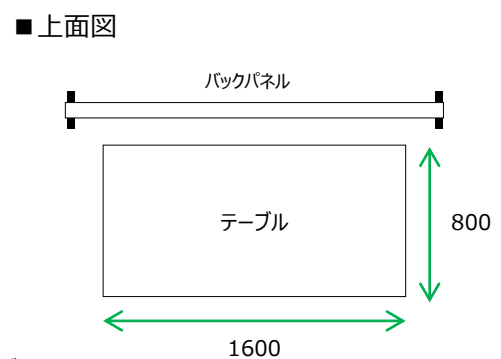
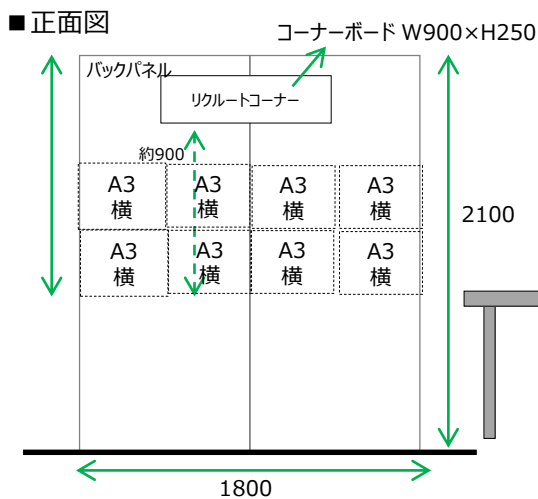
## 1. 展示ブースイメージ・仕様



※ブース仕様は変更になる場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

| ■ ご提供 ブース仕様 (事務局手配)                            | ■ ご出展社様手配 (必要に応じてご手配ください)                                       |
|------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 1 長テーブル 1台 (W1600×H700×D800)                   | 1 展示ソリューション及び必要となる機器 (PC、周辺機器等)                                 |
| 2 イス 2脚                                        | 2 ポスター及び展示用パネル (A1横で2枚程度まで貼付け可)<br>※画鋏、テープなどもお持ちください            |
| 3 バックパネル W1800×H2100<br>(※貼付けスペース W1800×H約900) | 3 カタログ類                                                         |
| 4 ご社名ボード W900×H250                             | 4 その他、販促物                                                       |
| 5 出展社パス<br>・講演会、懇親会参加可能パス…5枚                   | ※この他の機材等をご希望の場合は、別途お問い合わせください。<br>※自社バナーをお持ち込みになる場合は事前にご連絡ください。 |

## 2. リクルートコーナーイメージ・仕様



※コーナー仕様は変更になる場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

# お申込みについて

日科技連Webからアクセスしてください。

**Web**

<http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/bios30>

## ■講演会・懇親会・論文集の申込

Webフォームから送信してください。

申込締切：**2019年8月28日（水）**

### ■申込要領

1. 7月下旬より、請求書、申込チケットを順次発送致します。お支払いは請求書発行日より2ヵ月以内をお願いします。
2. 誠に恐れ入りますが、振込手数料は貴社にてご負担いただきますようお願いします。
3. 8月23日(金)以降のキャンセルの場合、全額を請求させていただきます。また、入金後の返金も行いません。
4. 学生の方は、当日受付にて学生証をご提示ください。

※ 講演会資料は、8月下旬から、専用サイトにてダウンロードが可能です。

## ■展示ブース・リクルートコーナーの申込

メールで下記提出物をお送りください。

＜提出物＞

①協賛申込書、②貴社ロゴデータ

申込締切：**2019年6月28日（金）**

### ■申込要領

1. Webから申込書(Excelデータ)をダウンロードの上、必要事項をご記入いただき、電子メールで下記事務局にお申し込みください。
2. ②は、アウトライン化されたjpgまたはgif形式のデータをご提出ください。
3. 会場の関係でご出展をお受けできる数に限りがありますので、お早めにお申込みください。
4. 7月上旬に運営事務局より「出展社ガイド（マニュアル）」をお送りいたします。

## ■お申込み・お問い合わせ先

一般財団法人日本科学技術連盟 BioS30周年記念講演会事務局（沼屋／福田）

所在地：〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1

E-mail：[jusemedi@juse.or.jp](mailto:jusemedi@juse.or.jp) TEL：03-5378-9851

# Bioセミナー 過去参加組織一覧（50音順）※名称は受講当時のものです。

## あ

医療法人相生会臨床薬理センター  
(株)アイ・ディー・ディー  
アクテリオンファーマシューティカルズジャパン(株)  
(株)ACRONET  
(株)アグレックス  
旭化成(株)  
旭化成ファーマ(株)  
旭化成メディカル(株)  
旭メディカル(株)  
味の素(株)  
味の素製薬(株)  
(株)アズウェル  
アスカ製薬(株)  
(株)アスクレップ  
アステラス製薬(株)  
アストラジャパン(株)  
アストラゼネカ(株)  
アスピオファーマ(株)  
アベンティスファーマ(株)  
アムジェン(株)  
アルフレッサファーマ(株)  
EAファーマ(株)  
イービーエス(株)  
(株)イベリカCRD  
(独)医薬品医療機器総合機構  
(株)インテリム  
ウェルファイド(株)  
栄研化学(株)  
英国アムジェン(株)  
エーツヘルスケア(株)  
イーザイ(株)  
ACメディカル(株)  
(株)エスアールエル  
エスエス製薬(株)  
エスオーシー(株)  
(株)エス・シー・エー  
SCSK(株)  
MSD(株)  
大阪市立大学大学院医学研究科  
大阪大学医学部附属病院  
大阪大学大学院医学系研究科  
大塚製薬(株)  
(株)大塚製薬工場  
小野薬品工業(株)  
オリンパス(株)

## か

科研製薬(株)  
(株)カネカ  
鐘紡(株)  
ガルデルマ(株)  
(財)ガン集学的治療研究財団  
(社)北里研究所  
北里研究所北里大学臨床研究機構  
北里病院  
キッセイ薬品工業(株)  
岐阜大学  
木村メディカルライティング事務所

九州大学  
京都大学大学院  
京都大学病院  
杏林製薬(株)  
(株)協和発酵キリン  
協和発酵工業(株)  
協和メディアサービス(株)  
キリンビール(株)  
近畿中央胸部疾患センター  
クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン(株)  
グラクソ・ウエルカム(株)  
グラクソ・スミスクライン(株)  
(株)CLINICAL STUDY SUPPORT  
クレコムメディカルアセスメント(株)  
(株)クレハ  
呉羽化学工業(株)  
クローバ(株)  
KMバイオロジクス(株)  
慶應義塾大学  
慶應義塾大学大学院  
興和(株)  
国際医療福祉大学  
国立医薬品食品衛生研究所  
国立ガンセンター  
国立ガンセンター研究所  
国立ガンセンター東病院  
国立国際医療研究センター  
国立成育医療研究センター

## さ

サール薬品(株)  
(株)サイエンティスト社  
埼玉医科大学国際医療センター  
埼玉第一製薬(株)  
サクトインターナショナル(株)  
(株)SASインスティテュートジャパン  
佐藤製薬(株)  
サノフィ・アベンティス(株)  
サノフィ・サンテラボ(株)  
沢井製薬(株)  
参天製薬(株)  
サントリー(株)  
(株)三和化学研究所  
(株)CRC総合研究所  
(株)CRCソリューションズ  
(株)シーエーシー  
(株)CACクロー  
CTCラボラトリーシステムズ(株)  
(株)シーボック  
(株)JSOL  
NPO法人JORTC  
シェリング・プラウ(株)  
塩野義製薬(株)  
シスメックス(株)  
(株)資生堂  
自治医科大学情報センター  
シミック(株)  
シミック・ソフトゼロ(株)  
(株)ジャパンエナジー  
(株)ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

昭和大学病院  
昭和薬品化工(株)  
(株)新日本科学PPD  
シンバイオ製薬(株)  
スタットコム(株)  
スミスクライン・ピーチャム製薬(株)  
住友製薬(株)  
スリーエムヘルスケア(株)  
生化学工業(株)  
積水化学工業(株)  
ゼネカ(株)  
ゼリア新薬工業(株)  
セルジーン(株)  
セローノ・ジャパン(株)  
(株)先端医療振興財団  
(株)Zenbe  
(株)綜研  
(株)総合臨床メディ  
ソルベイ製薬(株)

## た

第一三共(株)  
第一製薬(株)  
大正製薬(株)  
大日本住友製薬(株)  
大鵬薬品工業(株)  
(株)タクミンフォメーションテクノロジー  
武田バイオ開発センター(株)  
武田薬品工業(株)  
田辺製薬(株)  
田辺三菱製薬(株)  
中央大学  
中外製薬(株)  
(株)中外臨床研究センター  
筑波大学大学院  
(株)ツムラ  
TIS(株)  
DRC(株)  
DOTワールド(株)  
帝人(株)  
帝人ファーマ(株)  
(株)データフォース  
テルモ(株)  
デンカ(株)  
(株)電助システムズ  
(株)デンソー  
(株)電通国際情報サービス  
東京医科歯科大学大学院  
東京CRO(株)  
東京大学  
東京大学医学部付属病院  
東京大学大学院  
東京大学大学院医学系研究科  
東京都医学総合研究所  
(独)東京都健康長寿医療センター研究所  
東京都立小児総合医療センター  
東京理科大学  
東京理科大学大学院  
東京都老人医療センター  
(株)東京都老人総合研究所

東邦大学  
東北大学大学院  
東レ(株)  
トーアエイヨー(株)  
徳島大学  
獨協医科大学  
富山化学工業(株)  
虎の門病院  
鳥居薬品(株)

## な

ナイフックス(株)  
長崎大学  
奈良県立医科大学  
新潟医療福祉大学  
新潟大学  
新潟大学医学総合病院  
日研化学(株)  
日清キョーリン(株)  
日清製粉(株)  
(株)日本アルトマーク  
日本イーライリル(株)  
日本医薬品工業(株)  
(株)日本科学技術研修所  
(株)日本科学技術連盟  
日本化薬(株)  
(一社)日本血液製剤機構  
日本シェリング(株)  
日本新薬(株)  
日本製粉(株)  
日本セントコア(株)  
日本臓器製薬(株)  
日本大学  
日本大学医学部  
日本タバコ産業(株)  
日本チバガイギー(株)  
日本ベーリンガーインゲルハイム(株)  
日本メジファジックス(株)  
日本モンサント(株)  
日本リスク・データ・バンク(株)  
NPO法人日本臨床研究支援ユニット  
日本レダリー(株)  
ノバルティスファーマ(株)  
ノボルディスクファーマ(株)

## は

バイエル薬品(株)  
バイオジェン・アイデック・ジャパン(株)  
バイオスタット(株)  
(株)バイオスタティスティカルリサーチ  
ハイクラス(株)  
ハクスター(株)  
パブリックヘルスリサーチセンター  
浜松医科大学医学部附属病院  
浜松衛生短期大学  
バレクセル・インターナショナル(株)  
(一財)阪大微生物病研究会  
万有製薬(株)  
久光製薬(株)

兵庫県病院局  
広島大学病院  
ファイザー(株)  
ファイザー製薬(株)  
ファルマシア(株)  
ファルマシア・アップジョン(株)  
藤沢薬品工業(株)  
富士フィルムRIファーマ(株)  
藤本製薬(株)  
(株)富士薬品  
富士レボイ(株)  
扶桑薬品工業(株)  
ブライトバス・パイオ(株)  
ブリストル・マイヤーズ(株)  
ブリストル・マイヤーズスクイブ(株)  
ヘキスト・マリオン・ルセル(株)  
(株)ベルシステム24  
(独)放射線医学総合研究所  
ポーラ化成工業(株)  
(株)ポーラファルマ  
星薬科大学  
北海道科学大学

## ま

丸石製薬(株)  
マルホ(株)  
三笠製薬(株)  
三菱ウェルファーマ(株)  
三菱化学(株)  
(株)三菱化成安全科学研究所  
(株)三菱ケミカルホールディングス  
ミヤザン製薬(株)  
明治製菓(株)  
MeijiSeikaファルマ(株)  
明治乳業(株)  
メディカル統計(株)  
(株)メデイサイエンスプランニング  
メビックス(株)  
持田製薬(株)  
森永乳業(株)

## や

(株)ヤクルト本社  
山之内製薬(株)  
ヤンセン協和(株)  
ヤンセンファーマ(株)  
ユーシービー・ジャパン(株)  
(株)ユートラム  
雪印乳業(株)  
ユックムス(株)  
横浜市立大学

## ろ

ライカマイクロシステムズ(株)  
立命館大学

## わ

ワイス(株)  
ワカモト製薬(株)  
和歌山県立医科大学附属病院



**JUSE:日本科学技術連盟  
臨床試験セミナー統計手法専門コース  
BioS30周年記念講演会**